

環境建設工学科 在学生の声



泉翔太（いずみしょうた）さん

出身：島根県・松江工業高等専門学校

所属：土木工学コース

学年：4 回生

進学予定

環境建設工学科土木工学コースの志望理由

松江高専の先輩が在籍しており，編入の実績があったことと，中四国地方の中でも比較的大きな都市にあるからです．高専から就職する道もありましたが，大学での研究活動による自己研鑽を経てさらに高い技術力をつけるために進学を決断しました．

将来のキャリアパスについて

将来はゼネコン志望であり，特にスーパーゼネコンに興味があります．インターンシップなどを通じて各会社の現場の雰囲気や技能者の方々との接し方について学ぶことができました．そこで，基礎的な学力，土木の知識は絶対条件であると考え，今年は技術士一次試験に挑戦し，合格しました．

大学生のライフスタイル

編入生は三年次からなので，基本的に編入生同士での交流がメインです．定期的に参加する部活動の飲み会や，編入生での食事会などを行い，研究の息抜きにしています．

大学の授業

履修数が多すぎてかなり大変でした．専門科目はほとんど二回目でしたが，技術英語で留学生と英語でコミュニケーションをとる時間はとても貴重だったと思います．高専や高校では英語をしゃべる機会は少ないのでとても勉強になりました．

留学について

編入したときには留学の申し込みは終わっており，単位も足りないので編入生には参加は難しいと思います．留学生との交流は技術英語の時間にできるのでぜひ積極的に参加してください．

環建ライフの良いところ

環境建設工学科はレポート課題や実験などが多いです．しかしながら，それらを通して物事を理解し，説明する力や，結果から考察する力，思考体力などが身に付きます．それらは自らの将来に大きく役立ちます．

受験生の皆さんにメッセージ

高校生の皆さん，まだ，土木と聞いてイメージが湧かない人や，悪いイメージを持っている人もいると思います．しかし今，3Kといわれた土木業界も変わろうとしており，土木技術者の減少により情報技術の導入を盛んに行ってい

ます。愛媛大学環境建設工学科はそれらの最前線です。ダム，橋梁，トンネルなどの代表的な構造物を作ることができなくても，我こそは土木を変えてやろうという人はぜひ考えてみてください。

高専生の皆さん，高専生の中で進学はまだまだ少数派であり，肩身の狭い思いもするでしょうが，どこに就職したいか決まらない人は進学をおすすめします。授業はほとんど習ったことですが，その中でも新しい考え方や，違った見方が見つけられます。